

【生涯学習係から】

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

子供を中心に「学校づくり」と「地域づくり」を考え、よりよい社会を創っていくということが、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進の大きな目的です。

学校は、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域と一体となって子供たちの成長を支えることが重要です。そのために、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置を進める必要があります。

地域は、地域コミュニティの活性化のため、学校を核に地域づくりを図る地域学校協働活動を充実させる必要があります。

学校を中心に住民が集まることで、今まで以上に活気に満ちあふれた地域になり、地域の力を巻き込んだ学校は、今まで以上に自信をもって子供たちに教育をすることができるはずです。



園・学校・地域のニーズに合わせて講師を派遣いたします

生涯学習係では、様々な機会でご活用いただける講師の派遣を行っています。

【講師派遣例】

- 児童・生徒、保護者向けメディアコントロール講習会講師
- 親の学びプログラム「ワクワク子育てトーク」の進行役
- こども園・幼稚園・小学校における体験活動の講師
- 地域学校協働活動やコミュニティ・スクールについての研修会講師



御要望や御希望に合わせて、開催時間や内容等を御提案させていただくこともできます。まずは、お気軽にお問い合わせください。

吾妻の特色を生かした事業の開催を支援しています

町村連携講座「ふるさと探訪」

吾妻6町村が毎年2グループに分かれ、グループ内の他町村講座へ相互に参加できる講座です。各町村の誇る文化財、自然、施設等をめぐる講座を開催しています。グループの組合せは毎年変わるので、長期間にわたって郡内を探訪できる県内でも特徴的な事業です。



社会教育担当者会

毎月1回、吾妻6町村の社会教育担当者と事務所生涯学習係が集まり、情報交換や各町村での社会教育の充実を図る研修会を開催しています。

生涯学習係では、管内の貴重な教育資源を有効活用し、各町村における生涯学習を支えるとともに、これからも吾妻の地域性を生かした事業を推進し、さらなる充実を図ってまいります。

「学習指導要領」を読んで

吾妻教育事務所長 萩原 聖徳



学校訪問では、子供たちの元気な姿が見られました。一人一台端末も日常化し、いよいよベテランの先生方が巧みな授業展開の中で高度に活用する姿に頼もしさを感じます。

このGIGAスクール構想加速の理由は感染症ではなく、地球規模の大きな社会の変化です。そのスピードは、能力を超えた急斜面で直滑降を強いられた時に似た不安を感じさせます。子供たちには、その斜面を自分のものにして、この社会を生き抜き、次の社会を創造していくことが課せられています。我々教育に携わる者はその力を育む責務を負い、各学校の教育活動はその資質・能力を培う場です。

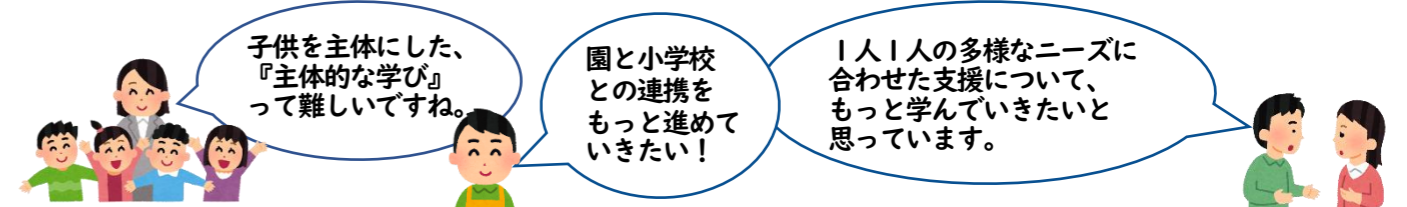
そこでその拠り所、つまり教育課程の編成・実施の基準となる学習指導要領について、構想の過程から見てみました。その中身は十年かけて検討され、この要領に沿った教育が施される子供たちが社会で活躍するのは更に十年近く先のことです。そこまで先を読み描くという難しいミッションに対して、各方面の専門家が本当に緻密な検討を繰り返して作成しています。例えば、今話題の生成AIの普及も既に想定内であり、そこで活躍する人間に必要な力と役割が描かれています。そして、これまで日本の教育で大切に積み上げられてきた各教科等における見方・考え方をもちえれば、社会の変化に対応でき未来を拓けること、それを身に付けるための学びの形や形に現れない学びに向き合う姿勢の大切さが示されています。

これまで学習指導要領は常に次代をにらみ、我が国の立ち位置を見極めて次の社会を切り拓く術を示してきました。そして今回も自立に導く学びという財産を子供たちに用意しました。しかし、この要領を使いこなすには、我々が大切にしなければならないことがあると考えます。それは、社会の変化に正面から向き合い、その中でよりよく生きる見通しをしっかりとつこと。つまり、我々が社会の変化に目を向けず、今まで浸かっていた安定との違いを嘆いていたのでは、次代に向けた要領の本当の価値を見落とし、期待された活用に至りません。そして教育の場においては、子供に迫る変化を自分の事として本当に受け止められるのは我々以外にはいないと考えます。子供の成長とよりよい未来を考え続けてきた者だけが持つ視点があると言います。人間の多種多様な社会活動がその変化をコントロールし、前に進ませようとする中で、絶対に譲れない柱に誇りをもちたいと考えます。

時間や空間を超える地球規模の社会の変化に突入しました。我々はその変化を自分のものとして対応し、活用する。将来においても真に信頼のおける教育を、自信をもって展開していかなければと感じています。

【学校教育係から】

10月をもって管内全ての園・学校の計画訪問が終了しました。大変お世話になりました。訪問では先生方の授業や保育の様子を参観させていただきました。また、先生方の率直な思いやお悩みの声をお聞きすることができました。



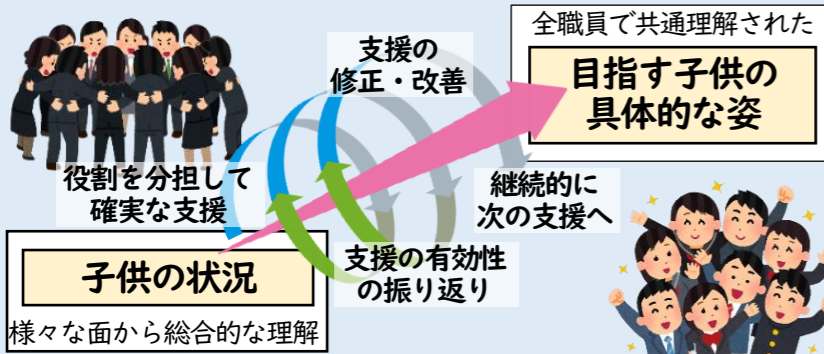
ここで、「学校・園経営の重点」を使って、教育活動の「点検」をしてみませんか？

計画訪問で説明させていただいた「学校・園経営の重点」は、先生方に活用していただくために作成しました。御自身の教育活動を「点検」という意味で、改めて読んでいただければと思います。この「点検」をすることが、日頃感じている課題や悩みの解決のヒントとなれば幸いです。

「学校・園経営の重点」には6つの視点があります。それぞれの視点のポイントも示してありますので、気になる視点については併せて御覧ください。御不明な点や詳しく知りたい点がありましたら、吾妻教育事務所へお気軽に御相談ください。

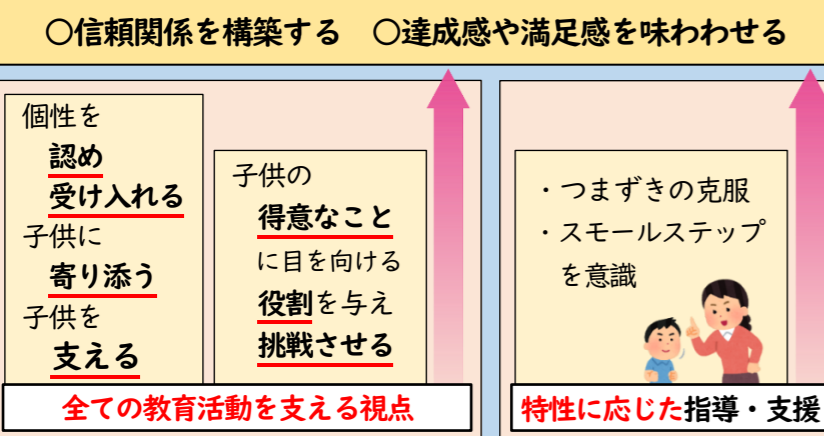
①学校・園づくり

あらゆる教育活動を組織的に進めるための視点です。学校全体が1つのチームとして機能するよう、職員一人一人が役割を意識して取り組みましょう。



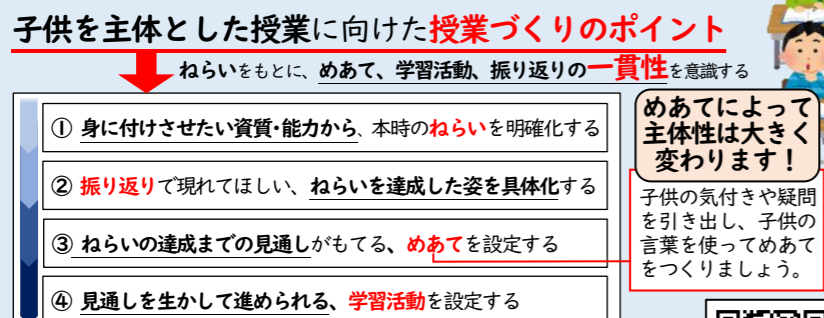
②特別支援教育の充実

全ての教育活動を支える根幹となる重要な視点です。子供一人一人の教育的ニーズを適切に把握し、一人一人に必要な支援を充実させましょう。



③確かな学力の育成

学力の育成のために、**子供主体の授業**をつくっていく視点です。「いかに教師が教えたか」から、「いかに子供が学んだか」へ、教師の意識の改革を進めましょう。



チェックボックスをご利用ください。



令和5年度 学校・園経営の重点

- 【学校・園づくり】
 - 育成を目指す子供の具体的な姿を全職員で共通理解しましょう。
 - 子供の状況をさまざまな面から総合的に理解し、役割を分担して確実な支援につなげましょう。
 - 全職員で支援の有効性を振り返り、継続的に次の支援を積み重ねていきましょう。
- 【特別支援教育の充実】
 - 子供の個性を認め受け入れ、寄り添い支えることで、子供との信頼関係を築きましょう。
 - 子供の得意なことに目を向け、本人が自信をもってそれを生かせる役割を与えることによって、達成感や満足感を味わわせましょう。
 - 特別な配慮を必要とする子供には、一人一人の特性に応じた指導・支援を工夫しましょう。
 - ・子供のつまずきに対し、どうすればできるようになるのかという視点での指導・支援。
 - ・スモールステップで目標を達成し、できることを増やしたり、積み重ねたりする指導・支援。
- 【確かな学力の育成】
 - 身に付けさせたい資質・能力を明確にした「ねらい」を設定しましょう。
 - 子供の気付きや疑問を引き出し、学習意欲を喚起する「めあて」を子供と共に作りましょう。
 - 子供が自分に合った方法で追究できる中心的な学習活動を設定しましょう。
 - 本時の「めあて」に沿った「振り返り」をさせましょう。
- 【豊かな人間性の育成】
 - 子供が「認められている」という自己存在感を実感できるようにしましょう。
 - ・子供の目を見て「名前を呼ぶ」「対話する」等。
 - 子供の共感的な人間関係を育成しましょう。
 - ・他者の意見を否定せず、互いに関心を抱かせ、協力する場面の設定。
 - 子供の自己決定の場を広げましょう。
 - ・自ら「考える」「選択する」「決定する」「発表する」「制作する」等。
 - 子供の安全・安心な「居場所づくり」を進めましょう。
 - ・互いの個性や多様性が認められた「安心できる」「居心地のよい」学級づくり。
- 【健やかな体の育成】
 - 子供が自己目標をもち、生涯にわたって健康を保持増進できる基礎を育てましょう。
 - ・「体力向上プラン」を活用した、運動習慣の形成。
 - ・「生活習慣病予防対策基本方針」を活用した、健康的な生活と食の習慣形成。
 - ・家庭と連携した健康的な生活習慣の形成。
 - 子供の実態に応じて、運動が「楽しい」「やってみたい」と思える授業づくりを進めましょう。
 - 子供が健康に関する知識を活用できる学習活動を進め、健康に生活する実践力を育てましょう。
- 【幼児教育の充実】
 - 様々なことに興味や関心をもたせ、幼児の好奇心や探究心を引き出すなど、心を動かされる体験ができる環境構成をしましょう。
 - 幼児に任せて見守ったり、解決の過程を認めたりして自己肯定感を高め、主体性を伸ばしましょう。
 - 幼児同士をつなぐ役割を意識し、相手のよさに気付かせたり、思いを十分聞いたりして、思いを「伝え合うよさ」を実感させましょう。

この点検を明日からの教育活動に生かしてください。

④豊かな人間性の育成

人間性の伸長を促す学校づくりのための視点です。子供が安全に安心して過ごせる居場所をつくるのが最優先です。そのためには、深い児童生徒理解と、それに基づく支援が不可欠です。

安全・安心な居場所づくりの例 (R4.12改訂)『生徒指導提要』P.14 生徒指導4つの視点を生かした授業づくり

- 自己存在感の感受: 一人一人が大切にされた、どの児童生徒も分かる授業
- 共感的な人間関係の育成: 他者の意見を尊重し、支え合いながら学習する授業
- 自己決定の場の提供: 課題の設定や学び方を自ら判断し、決定できる授業
- 安全・安心な風土の醸成: 個性や多様性を互いに認め合うことで、誰もが安心して受けられる授業

「教育あがつま HOT NEWS 第68号」も参照ください

⑤健やかな体の育成

健康や生活習慣に目を向け、生活していこうとするための視点です。学びの成果を日常生活で主体的に発揮できるようにしましょう。

生涯にわたって健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現する力を育成しましょう

体育の授業を中心に

- ・授業でも日常生活でも運動に親しむ工夫
- ・日常生活の中で既習事項を活用できる工夫

学校全体では

- ・「体力向上プラン」(各校で作成)
- ・「生活習慣病予防対策基本方針」(県教委作成)
- ・健康的な生活習慣の形成(家庭と連携して)

⑥幼児教育の充実

心動かされる体験を通して成長を促すための視点です。幼児の成長を促す、「主体的な遊び」を進めていきましょう。

幼稚園・こども園と小学校との連携のために!

環境構成

- 気付きや発想を生み出す環境構成の工夫を行う

主体性の伸長

- 任せて見守ることで生まれる主体性を認める

幼児同士の関わり

- 幼児同士をつなぐ教師の役割を意識する

小学校の先生へ!

幼児教育は、遊びを通じた総合的な指導の中で資質・能力を育てています。ぜひお近くの幼稚園・こども園の幼児の遊びや保育の様子を参観してみてください。連携をより深めるため、幼・小のつながりを意識し、小学校は幼稚園・こども園の育ち(遊びを通じた学び)が生かせるよう準備を進めましょう。